

平成21年度 酸性雨測定結果

本県では、酸性雨の実態を把握するため、昭和58年度から調査を実施しています。

平成21年度は、青森市1地点、鱒ヶ沢町1地点及び環境省の委託を受けて外ヶ浜町竜飛岬の国設酸性雨測定所で調査を実施しました。

平成21年度のpH測定結果は図1のとおりであり、酸性雨(pH5.6以下の雨)が観測されています。

環境省が発表した1983～2002年度の20年間の酸性雨対策調査総合とりまとめ報告書によると、全平均値が4.77であり、本県のpHの値はほぼ全国平均と同じであるといえます。

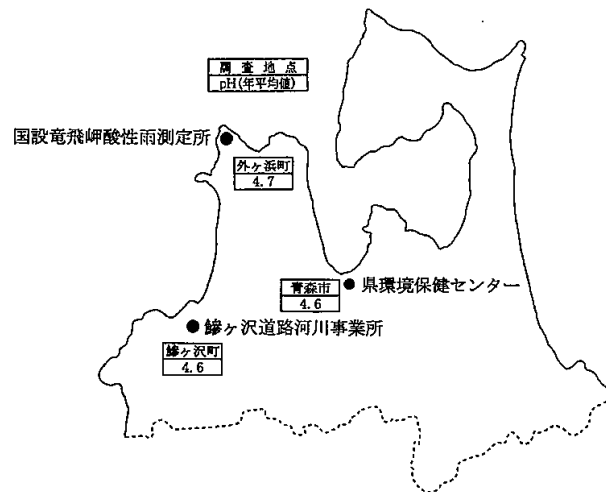


図1 平成21年度のpH測定結果(年平均値)

※ 国設竜飛岬酸性雨測定所のデータは環境省委託調査の結果(速報値)

過去10年間の経年変化は図2のとおりです。経年変化を見ると、顕著な変化は見られず、ほぼ横ばいで推移しています。県では今後も県内の酸性雨の実態調査を継続していきます。

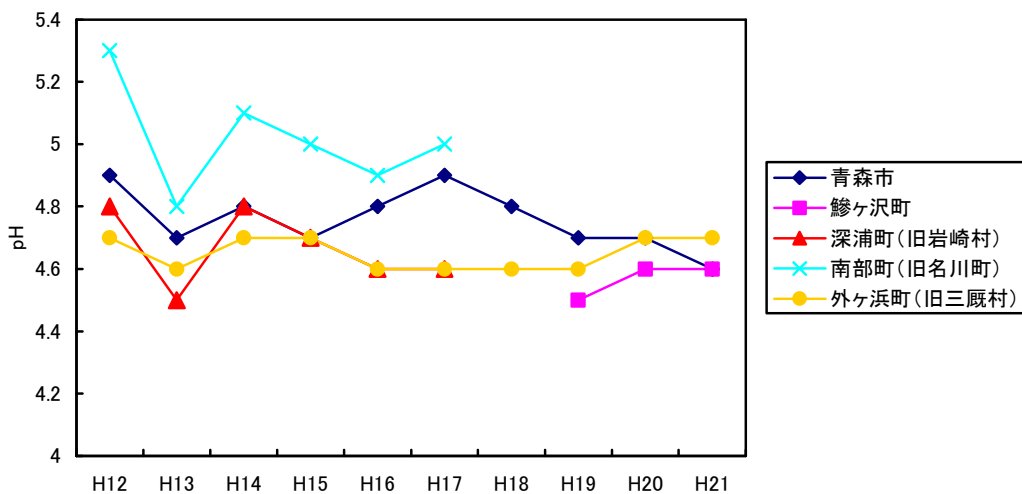


図2 酸性雨経年変化

※ 深浦町(旧岩崎村)及び南部町(旧名川町)における調査はH17年度で終了